

大学図書館の Twitter 利用

栗山 和子^{1,a)}

概要：本研究では、国立大学の附属図書館が Twitter をどのように利用しているのか、簡単な実態調査を行い、大学図書館の PR ツールおよびサービスツールとしての Twitter の有効性について考察した。まず、全ての国立大学の附属図書館について、Twitter のアカウントを収集し、ツイートの発言者の属性をプロフィールや図書館の公式サイトを用いて公式アカウントを同定した。次に、TwitterAPI を用いて、各アカウントのユーザ情報およびツイート 100 件を抽出し、その内容をいくつかのカテゴリに分類した。結果として、大学図書館のツイートの内容は、従来の館報や掲示による広報の範囲内に収まっており、双方向的なやりとりやリツイートによる情報拡散などの Twitter の特性を十分活用しているものではなく、主に簡易的な広報ツールとして使用されていること、また、公式アカウントがフレンドとしてフォローしているユーザの 4 割はフォローと重複しており、必ずしも、Twitter 上での有用な情報源をフレンドとして登録しているわけではないことなど、まだ、大学図書館の Twitter 利用には課題が多いことがわかった。

1. はじめに

近年では、企業の広報活動のための有効なツールとして、Facebook[1] や mixi[2] などのソーシャルネットワークサービス (SNS) や Twitter[4] などのマイクロブログが注目されている。その一方で、一部の従業員の不適切な利用により、企業イメージの低下や内部情報の漏えいなどの問題が発生し、企業では運用ポリシーや利用ガイドラインの策定や従業員教育の見直しなどの対策を講じ始めている [18]。

日本の図書館においては、情報通信技術 (ICT) を利用した図書館の広報活動や図書館サービスの一環として、1990 年代後半から、公式 Web サイトの構築が行われているが [13]、上記のようなソーシャルメディアの社会的な流行を受けて、Facebook や Twitter を新たな広報活動のツールとして利用する図書館が増えている [16], [23]。しかし、図書館におけるソーシャルメディアの利用は、まだ、始まったばかりであり、個々の図書館の運用ポリシーや利用法も様々である。

本研究では、有用な情報源の一つである図書館および図書館資料に利用者を誘導するにはどのような方法が効果的であるか検討するために、大学図書館のソーシャルメディア利用について考える。具体的には、日本の国立大学の附属図書館が Twitter をどのように利用しているのか、簡単な実態調査を行い、大学図書館の広報活動および図書館

サービスのツールとしての Twitter の有効性について考察する。

本稿の構成を以下に示す。2 節では、図書館の Twitter 利用についての関連文献について簡単に述べる。3 節では、国立大学の附属図書館に関する Twitter アカウントの状況、および、プロフィール、フレンド数、フォロー数、ツイート数などのユーザ情報について示し、公式アカウントを同定する。4 節では、公式アカウントのツイート内容をいくつかのカテゴリに分類し、Twitter 利用の現状について示す。5 節では、本稿のまとめを述べ、本研究の今後の課題と予定を示す。

2. 関連研究

2008 年 4 月に Twitter 日本語版サービスが公開されてから、図書館に対して情報発信ツールの一つとして Twitter を紹介し、利用を薦める動きが見られる [10], [11], [12], [14]。そのほとんどは、新しいツールとしての紹介であり、Twitter の機能や使用法を述べるにとどまっている。原 [16] は、神戸大学附属図書館の利用法と自分の経験を述べ、リプライ (Reply) やリツイート (ReTweet) を利用したコミュニケーションツール、レファレンスツールとしての可能性を示している。

また、Twitter では、直接ユーザがツイートするだけでなく、ボット (bot) を用いた自動発信が可能であるが、山田 [9] は、自分が作成した「論文ったー」[8] を紹介している。「論文ったー」は、「空気を読んで論文を紹介する twitter-bot」であり、「CiNii ウェブ API と buzztter の RSS を利用し

¹ 東洋大学 社会学部 メディアコミュニケーション学科
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

a) kkuriyama@toyo.jp

て」[8], Twitter 上のトレンドと関係ありそうな CiNii 上の論文の簡略な書誌事項をツイートするものである。

日本の政府および地方公共団体が運営する機関の Twitter 利用に関しては, 吉村 [17] が東日本大震災前後の公共機関アカウントの利用分析をしており, ツイート数とフォロー数の推移を調べ, ツイート内容の分類を行っている。その結果として, 独自の情報提供をある程度の頻度で行っているアカウント, フォロワとのコミュニケーションを行っているアカウントのフォロー数の増加率が高く, 既出の情報を引用したツイートを多く投稿していたアカウントのフォロー増加率は低いことを述べ, 災害時の公共アカウントの運用ガイドラインを示している。

上記のように, 災害時の日本の公共機関のアカウントについては先行研究があるものの, 日本の大学図書館による Twitter 利用に関して, 個別の事例を紹介する文献 [6], [7], [15], [23], [24] が主であり, 大学図書館の利用の実態についてまとめて調査・分析したものではなく, 本研究で調査する意義はあると考える。

3. 国立大学図書館の Twitter アカウント

3.1 スクリーン名の収集

Twitter では, アカウント登録時に, ユーザ ID として 64bit の数字が割り当てられ, システム上は識別される。しかし, ユーザはスクリーン名 (ユーザ名) と名前を自分で登録することができ, アカウントの表示としては, スクリーン名が主に用いられている。

本研究では, 大学図書館の Twitter の利用状況を調べるため, 大学図書館・図書室のスクリーン名を収集した。まず, 文部科学省の Web サイト [20], [21], [22] を用いて, 国立大学 86, 公立大学 83, 私立大学 610 の計 779 大学の大学名と公式サイトの URL のリストを作成した。ただし, 2013 年 7 月 28 日の時点で, 統合や廃校などによって既に存在しない大学についてはリストから除き, 名称が変更になっている大学については名称を修正した。

次に, 日本図書館協会 (JLA) の大学図書館リンク集 [19] を用いて, 大学図書館・図書室と公式サイトの URL の一覧表を作成した。なお, JLA の大学図書館リンク集には大学内の図書館・図書室以外の URL や既に存在しないサイトの URL も掲載されているが, 参考としてリスト中にはそのまま残した。

最後に, 手作業で全大学の全ての附属図書館・図書室の公式サイトの URL の同定およびスクリーン名の収集を行った。作業に際しては, Twitter の検索機能および複数のサーチエンジンで検索した大学図書館のものと推測されるスクリーン名のリストを参考として用いたが, 大学図書館のスクリーン名を網羅的に収集するため, 全ての附属図書館・図書室について, 大学の公式サイトおよび図書館・図書室の公式サイトの存在を確認した後, スクリーン名の

表 1 使用するユーザ情報

フィールド	説明
id_str	ユーザ ID
screen_name	スクリーン名 (ユーザ名)
name	名前
created_at	アカウント登録日時
location_at	場所
description	自己紹介
url	ホームページ
listed_count	登録されているリストの数
favourites_count	お気に入りにしたツイートの数
followers_count	フォロー数
friends_count	フレンド数
statuses_count	ツイート数

有無を調べ, 大学図書館・図書室のスクリーン名の一覧表を作成した。手作業で同定を行った理由は, Twitter アカウントの自己紹介文に図書館名が含まれていても, 一つの図書館が複数のアカウントを持っている場合, 運用が正式でない (試行である) 場合, 公式アカウントではない場合など, 状況が様々であり, 検索機能のみでは網羅的なリストの作成が困難であったからである。

本稿では, 存在が確認できた大学図書館・図書室のうち, 国立大学の附属図書館・図書室に関する Twitter アカウント 65 件についてのみ考察する。公立大学および私立大学については, 稿を改めて述べる。

3.2 Twitter アカウントのユーザ情報

本研究では, Twitter アカウントのユーザ情報を取得するため, TwitterAPI[5] を使用して, 各アカウントのユーザ情報から表 1 に示すフィールドを抽出した。ユーザ ID は, Twitter が割り当てた数字である。スクリーン名 (ユーザ名), 名前, 場所, ホームページ, 自己紹介は, ユーザが自分で登録するフィールドであり, 登録後も自由に変更できる。

表 2,3 に, 国立大学の附属図書館・図書室に関する Twitter アカウント 65 件の, 大学名, スクリーン名, 名前 (Twitter に登録されている名称), 公式/非公式, 図書館公式サイトからのリンクの有無, 利用日数, フォロワ数, フレンド数, ツイート数を示す。データは 2013 年 8 月 15 日の時点のものである。

アカウントが図書館が公式に運用しているものかどうかは, 各アカウントの自己紹介の内容 (「公式」「非公式」の表記), および図書館の公式サイト上の説明から総合的に判断した。公式/非公式の欄の, 「公式」は図書館が業務として行っているもの, 「公式 (試行)」は図書館が試行と明記して行っているもの, 「公式 (学生)」は図書館が公に認めているがツイートは学生アルバイトやボランティアが行っているもの, 「非公式」は図書館は職員や関係者が行っていると思われるが図書館の業務として行っていないわけ

ではないものである。「公式（自動）」「非公式（自動）」は主に bot 等を用いて自動的に投稿しているものであるが、「公式」「公式（試行）」の中にも、一部のツイートも自動的に投稿しているものがある。

本稿では、「公式」「公式（試行）」「公式（学生）」「公式（自動）」を公式アカウントとし、太字で示す。スクリーン名の順序は、文部科学省の国立大学のリスト [21] の順序に従っている。

表 4 に、利用日数、フォロー数、フレンド数、ツイート数の平均を示す。

ツイート数を比較する場合、利用日数による差が大きくなるので、利用日数別に、半年（182 日）未満、半年以上 1 年以下（183 日～365 日）、1 年以上 2 年未満（376 日～730 日）、2 年以上 3 年未満（731 日～1095 日）、3 年以上 4 年未満（1096 日～1460 日）、4 年以上（1461 日～）と分けたものを表 5 に示す。

3.3 公式アカウントと非公式アカウント

国立大学 86 校のうち、附属大学図書館・図書室もしくはそれに類する部署に関連する Twitter アカウントは 65 であった。1 つの大学が複数のアカウントを使用している場合があるので、アカウントを運用している大学は 37 校である。そのうち、自己紹介などから公式であると確認できたのは 47 で、30 校である。公式アカウントの内訳は、公式 33、公式（試行）9、公式（自動）2(3)、公式（学生）3 である。ただし、公式（試行）のうち 1 つは自動（括弧内）でもある。すなわち、3 分の 1 以上の国立大学が 1 つ以上の大学図書館・図書室で Twitter を公式に利用していることがわかった。しかし、公式アカウントのうち、7 つが図書館の公式サイトからリンクがはられていなかった。

表 4 から、利用日数の平均は、公式アカウント 605.4 日、非公式アカウント 850.1 日、全体 673.1 日で、非公式アカウントの方が公式アカウントよりも利用日数が高いように見える。しかし、実際には、2 年以上利用されている 31 アカウント中では非公式アカウントは 12、3 年以上利用されている 12 アカウント中では非公式は 5 であり、公式アカウントに比べて、長期利用されているアカウントが多いわけではない。4 年（1461 日）以上利用されている 3 つのアカウントが全て非公式だったため、非公式全体の平均値が大きくなっただけである。

表 5 から、フォロー数、フレンド数、ツイート数は、利用期間が長くなるほど多くなっているように見えるが、これも平均をとったためである。フォロー数の最大値、最小値、標準偏差は、3506、0、750.2、フレンド数の最大値、最小値、標準偏差は、3066、0、631.6、ツイート数の最大値、最小値、標準偏差は、47521、0、6185.2 であり、いずれもアカウントごとのばらつきが大きく、一定の傾向はないと考えられる。

各アカウントについて、フォローとフレンドが重複している割合を、フォローとフレンドの重複している数／フレンド数として計算すると、重複の割合の平均は 47.9% であり、フレンドの約半数がフォロワーと重複していることがわかった。これは、あるアカウントからフォローされた場合にそのアカウントをフレンドに登録する、または、あるアカウントをフレンドとして登録するとそのアカウントからフォローされる、相互的なフォローが Twitter 上では多いためであると考えられる。

4. 公式アカウントのツイートの分類

4.1 ツイートのカテゴリ

Twitter では、TwitterAPI [5] 等を用いて、最新のツイートから最大 3200 件までさかのぼって取得することができる。2013 年 3 月から、Twitter は自分のアカウントについては過去のツイートを「全ツイート履歴」としてダウンロードできるサービスを提供しているが、他のアカウントのツイートについては、提供されていない。有料では、2012 年 12 月から、NTT データが Twitter と契約し、全ツイートデータの提供サービスを始めている [3]。

本研究では、TwitterAPI を用いて、45 の公式アカウントの最新のツイートからそれぞれ 100 件ずつさかのぼって取得し、その内容を手作業で 5 つのカテゴリに分類した。東京大学の新図書館計画に関する 2 つのアカウント「*TodayNewLibrary*」と「*ACS_TodayNewLib*」は公式ではないので、分類するアカウントからは除いた。

分類に使用したカテゴリは、以下の通りである。

- (1) 開館・閉館時間／施設利用：開館・閉館時間、および施設・設備の利用時間・利用方法
- (2) 図書館イベント：図書館内の行事・イベント・展示等（開催報告も含む）
- (3) 新着図書・雑誌紹介：新着図書・雑誌・電子資料の紹介（書評サイトの更新の告知も含む）
- (4) 貸出・閲覧・複写：蔵書の貸出・閲覧・複写
- (5) 図書館システムの管理・保守：図書館システム（PC、サーバ、ネットワーク、OPAC、データベース等）の管理・保守
- (6) 図書館利用者教育：ガイダンス、館内ツアー、情報検索講習会（OPAC・データベース講習会等）、レポート作成指導
- (7) レファレンスサービス：レファレンスサービス
- (8) その他の図書館サービス：自館・他館・他情報センター等の図書館関連サービス、学生ボランティアの活動
- (9) 学内・地域イベント：大学内や地域の行事・イベント・展示
- (10) その他：上記に含まれない内容

表 2 国立大学図書館の Twitter アカウント (1~50 件)

大学名	スクリーン名	名前	公式/非公式	リンク	利用日数	フォロー	フレンド	ツイート
北海道	HOUMural	北大総合博物館 (非公式)	非公式	無	841	1878	1409	13757
室蘭工業	MuroranIT_lib	室蘭工業大学附属図書館	公式	有	822	319	43	530
東北	imr_lib	東北大金研図書館 IMR Library	公式 (試行)	有	74	30	37	52
東北	hagi_no_suke	Tohoku Univ. Library	公式	無	931	3457	2698	4047
東北	T_U_Archives	東北大学史料館	公式	有	478	302	28	61
宮城教育	MUES_muelibrary	MUES (宮城大図書館ボランティア)	公式 (学生)	有	486	107	57	65
山形	To_Yamada	山田俊幸	非公式	無	1653	209	144	717
山形	tsuchiyaNaoyuki	Tsuchiya_Naoyuki	非公式	無		459	639	954
福島	Toriokikun	Fukushima Univ Lib	公式	無	886	1176	1992	10402
筑波	tsukubauniv_lib	筑波大学附属図書館	公式	有	886	3506	3066	5849
筑波	tsukuba.tulips	筑波大学附属図書館 (非公式)	非公式	無	1576	620	6	407
群馬	CLib_Gunma_Univ	群馬大学情報メディア中央図書館	公式	有	121	222	214	416
千葉	ALC_Chiba_Univ	千葉大学アカデミックリンクセンター	公式	有	767	677	1	633
東京	Todai_KomabaLib	東京大学駒場図書館	公式	有	522	2291	4	938
東京	ut_library	【非公式】東京大学図書館 bot	非公式	無	975	1954	6	946
東京	utms_library	東大数理図書室	公式 (試行)	有	1164	818	189	3268
東京	Todai_AgLib	東京大学農学生命科学図書館	公式	有	1162	565	91	1193
東京	Todai_epslib	東京大学地球惑星科学図書室	公式	有	60	77	40	88
東京	TodaiNewLibrary	東京大学新図書館計画	公式	有	141	403	45	310
東京	ACS_TodaiNewLib	アカデミックコモンズサポーター	公式 (学生)	有	72	54	4	94
東京学芸	learn_supporter	学習サポーター (学芸大図書館)	公式	有	51	50	183	14
東京工業	TitechLibFan	東京工業大学附属図書館ファン	非公式	無	765	518	508	528
東京工業	TokyoTechLib	東京工業大学附属図書館	非公式	無	883	43	0	0
お茶の水女子	ochalisa_lib	お茶大 LiSA	公式 (学生)	有	308	120	21	180
一橋	hito_lib	一橋大学附属図書館	公式	有	1248	1056	9	1862
一橋	hitlib_lit	一橋大学附属図書館ガイダンス	公式	無	141	97	10	142
一橋	hito_lib_na	一橋大学附属図書館新着図書	公式 (試行)	無	1144	38	0	47521
長岡技術科学	NUTLibrary	長岡技術科学大学附属図書館 (仮)	非公式	無	56	12	6	7
山梨	NashiLibM	山梨大学 附属図書館医学分館	公式	無	869	81	10	92
信州	ShinshuUnivLib	信州大学附属図書館	公式	有	183	281	0	597
富山	lilika_toyama	富山大学附属図書館の LiLiKa です。	公式	有	589	822	980	1691
富山	geibunlibrary	富山大学芸術文化図書館	公式	有	438	268	162	442
福井	LA_Fukui_Univ_L	福井大学総合図書館ラーニングアドバイザー	公式	無	56	30	114	10
静岡	ShizuokaUnivLib	静岡大学附属図書館	公式 (試行)	有	807	776	759	477
愛知教育	AUE_Lib	愛知教育大学附属図書館	公式 (試行)	有	437	392	350	576
豊橋技術科学	tut_opac	TUT OPAC	非公式	無	57	0	0	6
京都	KURENAI_update	KURENAI update!	公式 (自動)	有	1212	271	139	740
京都	kyodai.library	京都大学附属図書館情報 BOT	非公式	無	109	64	51	23
京都	jinkansoujinlib	京大人環・総人図書館	公式	有	353	1289	1297	1662
京都	kyodai_letlib	京都大学文学研究科図書館	公式 (自動)	有	1221	193	0	297
京都	kuscilib	京大理学部中央図書館トリガーくん	公式	有	289	376	401	327
京都	CIAS.library	CIAS.library	公式	有	543	14	3	85
京都工芸繊維	KIT_Library	京都工芸繊維大学附属図書館	公式 (試行)	有	683	602	18	1571
大阪	OsakaUnivLib	大阪大学附属図書館	公式	有	1116	2014	0	754
神戸	KobeU_Lib	神戸大学附属図書館	公式	有	1003	1000	69	986
神戸	kobekernel	Kobe Univ. Kernel	非公式	無	1436	1406	1253	4275
島根	Shimadai_Lib	島根大学附属図書館	公式 (試行)	有	478	358	199	679
岡山	OkayamaUnivLib	岡山大学附属図書館	公式	有	694	771	3	1047
広島	HiroshimaU_Lib	広島大学図書館 (公式)	公式	有	448	593	0	372
広島	HULnavi	Hiroshima-u Lib Navi	公式 (試行)	無	904	37	0	66

表 3 国立大学図書館に関する Twitter アカウント (51~65 件)

大学名	スクリーン名	名前	公式/非公式	リンク	利用日数	フォロー	フレンド	ツイート
広島	hiro dai_tosho	広島図書館 (非公式)	非公式	無	496	842	1404	765
香川	KagawaUnivLib	香川大学図書館	公式	有	820	1121	1022	1284
香川	KagawaUnivLM	香川大学図書館医学部分館	公式	有	759	102	0	163
香川	kavos2011	香大図書館学生サポーター	非公式	無	766	41	2	22
香川	tosho_kaga	香川大学図書館サポーター	非公式	無	273	4	0	2
香川	kadai.lib	香川大学図書館	非公式	無	1380	35	1	38
愛媛	Ehime_Univ_Lib	愛媛大学図書館	公式	有	627	369	15	649
九州	QLib.info	九州大学附属図書館	公式	有	822	1136	578	1170
九州	QLib.voice	QLib.voice	非公式	有	611	46	0	1191
九州	ICER_KyushuUniv	九州大学附属図書館付設教材開発センター	公式	有	130	52	0	18
佐賀	SagaUnivLibrary	佐賀大学附属図書館	公式	有	616	313	40	455
熊本	KumadaiLib	熊本大学附属図書館	公式	有	690	315	0	578
宮崎	uom.lib	宮崎大学附属図書館 (試行中)	公式 (試行)	有	203	29	9	772
鹿児島	KUL.kagoshima	鹿児島大学図書館 (非公式)	非公式	無	885	570	259	4329
琉球	ryukyus.lib	Univ. Ryukyus Lib	非公式	無	1517	205	0	438

表 4 利用日数, フォロワ数, フレンド数, ツイート数の平均 (公式/非公式/全体)

公式/非公式	大学数	利用日数	フォロー数	フレンド数	ツイート数
公式	47	605.4	616.4	317.0	2026.1
公式 (新館計画除く)	45	627.6	633.6	330.0	2107.1
非公式	18	850.1	494.8	316.0	1578.1
全体	65	673.1	582.7	316.7	1902.0

表 5 利用日数, フォロワ数, フレンド数, ツイート数の平均 (利用期間別)

利用日数 (期間)	大学数	利用日数	フォロー数	フレンド数	ツイート数
半年未満	12	89.0	90.9	58.7	98.3
半年以上 1 年未満	6	268.1	349.8	288.0	590.0
1 年以上 2 年未満	16	552.3	525.3	203.9	697.8
2 年以上 3 年未満	19	864.0	992.2	687.4	2433.4
3 年以上	12	1319.1	619.2	152.7	5125.8

4.2 分類結果

各アカウントのツイート100件を上記のカテゴリに分類した結果を表6に示す。100件中のリツイート(Retweet)と返信(Reply)については、カテゴリとは別に数えた。各アカウントで1番目に件数が多いカテゴリを太字で、2番目に多いカテゴリを斜体で表す。

4.3 考察

表6からわかるように、(1) 開館・閉館時間/施設利用、(2) 図書館イベント、(3) 新着図書・雑誌紹介に関するツイートが多く、(4) 貸出・閲覧・複写、(5) 図書館システムの保守・管理、(7) レファレンスサービスが少ない傾向にあることがわかる。(1)が多くなった理由は、ツイートを収集したのが8月15日だったため、最新の100件の中では、期末試験期間中および夏季休暇期間中の開館・閉館時間の変更や館内施設・設備の工事についてのツイートが多くなったと考えられる。特に、*Today_KomabaLib* (東京大学駒場図書館)、*utms.library* (東京大学大学院数理科学研究科図書室)、*Today_AgLib* (東京大学農学生命図書館)、*KIT.Library* (京都工芸繊維大学附属図書館)は、約半数が(1)であり、*utms.library*は毎日開室するたびにツイートしている。しかし、この4館を含めて、ほとんどの大学図書館では公式サイトトップページに開館日時を掲載しており、トップページに掲載していない場合でもワンクリック先のページに掲載しているため、開館・閉館時間を頻繁にツイートする必要性は低いと考えられる。

(2)は、来館する予定のない利用者にもイベントを知らせる手段としてツイートが利用されていると考えられる。「拡散希望」のように、積極的にリツイートを勧める表現を含むものもあり、Twitterを広報ツールとして活用しているといえる。*ALC.Chiba.Univ* (千葉大学附属図書館)は、ツイート100件のうち75件が(2)についてのツイートであるが、千葉大学附属図書館では、毎週火曜日・金曜日に「1210 あかりんアワー」というイベントとして講演会やブックトークなどを行っており、それに関連した展示と合わせて、毎日のようにツイートを行っている。

(3)のツイートが1番目に多かったアカウントは12であるが、そのうち8アカウントは、ツイートの半数以上が(3)である。全ツイートが(3)に分類された*hito.lib.na*は、*dlvr.it*というサービスを利用してRSSフィードからTwitterに自動的に投稿をしている。

(4),(5)については、貸出・閲覧・複写や図書館システムの保守・管理についてのお知らせがなければツイートされないため、少ないと考えられる。(7)については、Twitterの自己紹介やツイートの中で、ツイートに返信をされても返信はできないことを明記している図書館もあり、Twitterを対話的に利用する意図がない場合も多く、返信(Reply)の利用も少ない。

以上のことから、図書館の利用やイベント・展示に関するお知らせとしては積極的に利用されているものの、Twitterのソーシャルメディアとしての性質を利用して、対話的なコミュニケーションを行っている国立大学の大学図書館はほとんどないことがわかった。

5. おわりに

本研究では、国立大学の附属図書館・図書室のTwitterアカウントを同定し、公式アカウントのツイートの内容について分類を行った。その結果、ツイートの内容としては、開館・閉館時間や施設・設備の利用、図書館の行事・イベント、新着図書・雑誌紹介に関するツイートが多く、フォローやフレンドとのやりとりはほとんどないことがわかった。

TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアの利点は、リアルタイム性や双方向の対話性にあるが、大学図書館のTwitter利用では、まだ、その利点を十分活用できていないと考えられる。大学図書館の主な利用者は、学生と教職員であり、特に、学生は、ソーシャルメディアを積極的に利用している年代であるので、新着資料の紹介にとどまらない、学生のニーズや興味に合わせた速報的なサービスを行うことが望ましいと思われる。

今後の課題として、国立大学だけでなく、公立大学・私立大学についても同様の分析を行い、大学によって利用法に違いがあるか明らかにしたい。また、今回は、運用ポリシーについては調べなかったが、企業における従業員のソーシャルメディアの不適切な使用法の問題を受けて、大学でもソーシャルメディアの運用ポリシーを定めるところが増えている。大学図書館のTwitterの利用に関して、大学あるいは大学図書館としてどのような運用ポリシーやガイドラインが作成されているかについても調査し、Twitter利用の実態と合わせて検討し、大学図書館が広報ツールや図書館サービスのツールとしてソーシャルメディアをどのように利用できるか検討したい。

謝辞 本研究は、科学研究費補助金基盤研究C(課題番号23500302)の助成を受けて遂行された。

参考文献

- [1] Facebook: Facebook, Facebook (online), available from (<https://www.facebook.com/>) (accessed 2013-08-19).
- [2] mixi: mixi, mixi (online), available from (<http://mixi.jp/>) (accessed 2013-08-19).
- [3] NIT データ: Twitter データ提供サービス, NIT データ (オンライン), 入手先 (<https://nazuki-oto.com/twitter/>) (参照 2013-07-28).
- [4] Twitter: Twitter, Twitter (online), available from (<https://twitter.com/>) (accessed 2013-08-19).
- [5] Twitter: Twitter Developers, Twitter (online), available from (<https://dev.twitter.com/>) (accessed 2013-07-28).
- [6] 甲田さと美, 斉藤智子: 第20回大図研オープンカレッジ城西大学記念図書館のTwitter活用事例(特集大学図書

表 6 公式アカウントのツイートの分類結果

スクリーン名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	RT	返信	ツイート数/日
MuroranIT_lib	7	20	58	1	7	3	0	0	0	4	0	0	0.64
imr_lib	12	3	4	4	2	6	0	15	5	1	9	0	0.70
hagi_no_suke	8	4	2	1	0	0	0	7	73	5	50	0	4.35
T_U_Archives	7	31	5	2	0	0	0	2	4	10	1	0	0.13
MUES_muelibrary	0	17	26	1	0	3	0	3	0	15	1	2	0.13
Toriokikun	6	21	1	5	0	0	0	22	44	1	35	8	11.74
tsukubauniv_lib	24	1	12	9	5	2	0	5	26	16	6	2	6.60
CLib_Gunma_Univ	29	25	5	11	0	5	9	1	0	15	0	4	3.44
ALC_Chiba_Univ	7	75	1	1	0	13	0	2	1	0	1	0	0.83
Todai_KomabaLib	48	2	0	0	14	33	0	3	0	0	0	0	1.80
utms_library	54	2	18	9	0	0	0	6	2	9	3	2	2.81
Todai_AgLib	46	5	11	2	6	1	0	11	13	5	17	1	1.03
Todai_epslib	33	0	4	3	1	1	2	19	21	3	33	3	1.47
learn_supporter	0	0	1	0	0	12	0	1	0	0	1	0	0.27
ochalisa_lib	7	16	0	2	1	2	0	61	1	10	0	6	0.58
hito_lib	7	12	65	6	1	2	0	6	1	0	1	0	1.49
hitlib_lit	3	7	0	0	4	84	0	0	1	1	11	0	1.01
hito_lib_na	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.54
NashiLibM	28	30	22	5	1	0	0	5	0	1	1	0	0.11
ShinshuUnivLib	27	3	11	11	0	15	0	4	8	21	0	0	3.26
lilika_toyama	12	4	58	2	0	1	0	6	13	4	17	2	2.87
geibunlibrary	9	14	20	6	1	14	0	19	6	11	28	1	1.01
LA_Fukui_Univ_L	0	1	1	0	0	0	4	0	1	3	1	0	0.18
ShizuokaUnivLib	17	17	16	7	5	7	0	6	1	24	0	0	0.59
AUE_Lib	1	24	42	2	1	5	0	6	5	14	15	5	1.32
KURENAI_update	7	6	54	2	14	14	0	2	0	1	0	0	0.61
jinkansoujinlib	36	11	22	4	1	0	0	4	2	20	4	15	4.71
kyodai_letlib	4	7	17	9	31	17	0	12	1	2	11	0	0.24
kuscilib	13	5	34	2	6	16	0	3	13	8	4	0	1.13
CIAS_library	15	0	17	20	8	10	0	6	1	8	1	0	0.16
KIT_Library	62	3	12	4	1	0	1	8	5	4	12	2	2.30
OsakaUnivLib	20	26	6	1	0	19	0	2	22	4	28	0	0.68
KobeU_Lib	12	34	13	0	3	6	0	11	13	8	37	2	0.98
Shimadai_Lib	11	15	10	7	2	2	0	47	5	1	45	0	1.42
OkayamaUnivLib	11	6	53	5	5	14	0	6	0	0	0	0	1.51
HiroshimaU_Lib	33	18	23	6	7	7	0	5	0	1	0	0	0.83
HULnavi	0	0	0	0	0	65	0	1	0	0	1	0	0.07
KagawaUnivLib	6	14	74	2	0	0	0	0	0	4	0	0	1.57
KagawaUnivLM	34	12	14	9	8	1	0	18	2	2	6	0	0.21
Ehime_Univ_Lib	25	6	5	6	5	5	1	39	2	6	19	0	1.04
QLib_info	23	14	0	5	9	39	1	4	0	5	1	10	1.42
ICER_KyushuUniv	0	2	0	0	0	9	0	7	0	0	0	0	0.14
SagaUnivLibrary	33	17	13	4	6	3	0	16	2	6	0	0	0.74
KumadaiLib	19	29	14	4	8	6	0	18	2	0	6	26	0.84
uom_lib	3	0	94	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3.80

館ツイッター担当者オープン会議-第 20 回大図研オープンカレッジ), 大学の図書館, Vol. 30, No. 9, pp. 160-163 (2011).

- [7] 林 賢紀: USTREAM とソーシャルメディアを活用した新たなセミナーの運営 (特集全国研究集会 専門図書館の今日的課題を問い直す) - (第 6 分科会: デジタル時代における新たなサービスの潮流), 専門図書館, No. 255, pp. 90-94 (2012).

- [8] 山田俊幸: 論文ったー, Twitter (オンライン), 入手先 <<https://twitter.com/ronbuntter>> (参照 2013-07-28).

- [9] 山田俊幸: 空気を読んで論文を紹介する「論文ったー」(特集 全国研究集会 専門図書館の今日的課題を問い直す) - (第 2 分科会: 埋もれている情報を求めて), 専門図書館, No. 255, pp. 27-33 (2012).

- [10] 井上昌彦: 営業ツールとしての、ブログと Twitter (特集... のすすめ), 大学の図書館, Vol. 30, No. 3, pp. 39-41

(2011).

- [11] 三根 慎二：オープンアクセスをウォッチする 10 大ツール (特集:オープンアクセス), 情報の科学と技術, Vol. 60, No. 4, pp. 156-161 (オンライン), 入手先 (<http://ci.nii.ac.jp/naid/110007580533/>) (2010).
- [12] 岡本 真：総論：ソーシャルサービス活用：これまでとこれから (特集:ソーシャルサービス活用指南), 情報の科学と技術, Vol. 61, No. 2, pp. 52-57 (2011).
- [13] 図書館雑誌：特集 図書館ウェブサイトの展開, 図書館雑誌, Vol. 104, No. 6, pp. 357-373 (2010).
- [14] 坂本成生：ごぞんじですか? 図書館サービスに話題のツイッター (twitter) を使ってみよう, 専門図書館, No. 238, pp. 41-44 (2009).
- [15] 三波千穂美, 平湯あつし：テクニカルコミュニケーション教育における総合演習：ツイッターのマニュアル作成を題材に, 図書館情報メディア研究, Vol. 9, No. 1, pp. 97-107 (オンライン), 入手先 (<http://ci.nii.ac.jp/naid/40019184947/>) (2011).
- [16] 原 聡子：図書館による Twitter 活用の可能性, カレントアウェアネス, No. 304, pp. 4-5 (2010).
- [17] 吉村直子, 井上智雄：東日本大震災前後のマイクロブログサービス Twitter における公共アカウントの利用分析, 情報処理学会研究報告. GN, [グループウェアとネットワークサービス], Vol. 2012, No. 5, pp. 1-8 (2012).
- [18] 日本経済新聞社：社員の SNS に「お願い」、業務外利用、企業が炎上防止策, 日本経済新聞朝刊 2013 年 7 月 29 日, p. 17.
- [19] 日本図書館協会：大学図書館, 日本図書館協会 (オンライン), 入手先 (<http://www.jla.or.jp/link/link/tabid/169/Default.aspx>) (参照 2013-07-28).
- [20] 文部科学省：公立大学：文部科学省, 文部科学省 (オンライン), 入手先 (<http://www.mext.go.jp/b.menu/link/daigaku2.htm>) (参照 2013-07-28).
- [21] 文部科学省：国立大学：文部科学省, 文部科学省 (オンライン), 入手先 (<http://www.mext.go.jp/b.menu/link/daigaku1.htm>) (参照 2013-07-28).
- [22] 文部科学省：私立大学：文部科学省, 文部科学省 (オンライン), 入手先 (<http://www.mext.go.jp/b.menu/link/daigaku4.htm>) (参照 2013-07-28).
- [23] 関戸麻衣：図書館公式 Twitter へのお誘い-第 20 回大図研オープンカレッジ「大学図書館ツイッター担当者オープン会議」に参加して (特集:大学図書館ツイッター担当者オープン会議-第 20 回大図研オープンカレッジ), 大学の図書館, Vol. 30, No. 9, pp. 158-160 (2011).
- [24] 宮川陽子：福井県立図書館 ツイッター・フェイスブックの歩みとこれから (特集:全国研究集会 専門図書館の今日的課題を問い直す) - (第 6 分科会:デジタル時代における新たなサービスの潮流), 専門図書館, No. 255, pp. 82-85 (2012).